CASBEE あいち[戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-あいち[戸建]（2011年度版）　■使用評価ソフト：CASBEE_DH-NC_2011v1.1_aichi

1-1 建物概要

項目	内容	状況
建物名称	ﾃﾞｨｱﾌﾟﾚｲｽ岡崎駅西No10邸	
竣工年月	2014年3月	予定
建設地	岡崎市針崎町字朱印地35-15	
用途地域	準工業地域	確定
省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	Ⅳ	
構造・構法	木造・軸組構法	確定
階数	地上2F	
敷地面積	165 ㎡	確定
建築面積	60 ㎡	確定
延床面積	106 ㎡	
世帯人数	4人	確定

仕様等の確定状況		
	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	仮
	外構の仕様	確定

<備考>

評価の実施日	2013年8月19日
作成者	ﾌｼﾞｹﾝ一級建築士事務所　早川　貴将
確認日	2013年8月21日
確認者	ﾌｼﾞｹﾝ一級建築士事務所　山本　勝次

1-2 外　観

外観パース等

2-1 すまいの環境効率（BEEランク&チャート）

★★★★☆

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★

BEE=1.8

環境品質 Q: 74　環境負荷 L: 40

2-2 ライフサイクルCO2（温暖化影響チャート）

☆☆★★★

～0%: ☆☆☆☆☆　～50%: ☆☆☆☆　～75%: ☆☆☆　～100%: ☆☆　100%超: ☆

戸建標準計算

凡例：建設／修繕・更新・解体／居住／オンサイト／オフサイト

①参照値	100%
②建築物の取組み	81%
③上記+②以外のオンサイト手法	81%
④上記+オフサイト手法	81%

（kg-CO_2/年・m^2）

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価（レーダーチャート）

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする
Q2 長く使い続ける
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
LR1 エネルギーと水を大切に使う
LR2 資源を大切に使いゴミを減らす
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　Q のスコア＝ 3.9

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア＝3.5

暑さ・寒さ	健康と安全・安心	明るさ	静かさ
3.5	3.0	5.0	4.0

Q2 長く使い続ける　Q2のスコア＝ 4.3

長寿命に対する基本性能	維持管理	機能性
4.6	5.0	3.0

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア＝ 4.2

まちなみ・景観への配慮	生物環境の保全と創出	地域の安全・安心	地域の資源の活用と住文化の継承
5.0	3.7	5.0	3.0

LR 環境負荷低減性　LR のスコア＝ 3.3

LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア＝ 3.5

建物の工夫で省エネ	設備の性能で省エネ	水の節約	維持管理と運用の工夫
2.5	4.0	4.5	3.5

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア＝3.3

省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用	生産・施工段階における廃棄物削減	リサイクルの促進
3.6	3.0	3.0

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア＝ 3.2

地球温暖化への配慮	地域環境への配慮	周辺環境への配慮
3.7	2.5	3.5

3 重点項目

①地球温暖化への配慮　3.7

③敷地内の緑化　3.0

緑化面積の比率
緑化面積／((1-指定建ぺい率)×敷地面積)

34.1 %

②資源の有効活用　3.7

④地域材の活用　1.0

地域性のある材料

三州瓦（外装材）

地域で産出される木材資源

CASBEE-あいち[戸建](2011年度版)

ﾃﾞｨｱﾌﾟﾚｲｽ岡崎駅西No10邸

■使用評価マニュアル: CASBEE-あいち[戸建](2011年度版)
■評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2011v1.1_aichi

スコアシート

配慮項目	県独自基準	重点項目	具体的な取組一覧	評価点	重み係数	全体
Q すまいの環境品質						3.9
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする					0.45	3.5
1 暑さ・寒さ				3.5	0.50	3.5
1.1 基本性能				4.0	0.50	
1 断熱性能の確保			床下は押出法ポリスチレンフォーム、外壁、屋根はｳﾚﾀﾝ吹付断熱	4.0	0.65	
2 日射の調整機能			ガラスの日射侵入率42%	4.0	0.35	
1.2 夏の暑さを防ぐ				3.0	0.25	
1 風を取り込み、熱気を逃がす			LDK、主寝室に二方向の開口部を設置(その他の居室は一方向)	3.0	0.50	
2 適切な冷房計画			LDに統一省エネラベル多段階評価2つ星以上のエアコン設置として仮定	3.0	0.50	
1.3 冬の寒さを防ぐ				3.0	0.25	
1 適切な暖房計画			LDKに床暖房を床面積の概ね7割に設置	3.0	1.00	
2 健康と安全・安心				3.0	0.30	3.0
2.1 化学汚染物質の対策			F☆☆☆☆の材料を使用	5.0	0.33	
2.2 適切な換気計画			ｷｯﾁﾝ・WC・浴室に換気扇設置	3.0	0.33	
2.3 犯罪に備える			シャッター・面格子付以外の窓で鍵の2ヶ所設置不可のものがある	1.0	0.33	
3 明るさ				5.0	0.10	5.0
3.1 昼光の利用			LDK・主寝室共に南面に掃き出し窓を設置	5.0	1.00	
4 静かさ			最も性能の低いサッシで遮音等級2	4.0	0.10	4.0
Q2 長く使い続ける				–	0.30	4.3
1 長寿命に対する基本性能		②		4.6	0.50	4.6
1.1 躯体			床下・小屋裏点検口の設置、床下空間の一定高さの確保	5.0	0.30	
1.2 外壁材			ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ耐用年数は一般的な40年とし評価、通気金物使用で加点	4.0	0.10	
1.3 屋根材、陸屋根			耐用年数が最も良い瓦を採用。乾式工法による固定にて加点	5.0	0.10	
1.4 自然災害に耐える			制震装置GVAを採用しているので、レベル5とみなした	5.0	0.30	
1.5 火災に備える				3.7	0.20	
1 火災に耐える構造			外壁は30分防火構造、軒天は30分準耐火構造	3.0	0.65	
2 火災の早期感知			台所及びすべての居室に住宅用火災警報器設置	5.0	0.35	
2 維持管理				5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ			給水ヘッダー方式を採用	5.0	0.65	
2.2 維持管理の計画・体制			半年・1年・2年点検実施・お客様相談室でのサポート体制有	5.0	0.35	
3 機能性				3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り			各居室に適正な規模の収納スペースを設置した	4.0	0.50	
3.2 バリアフリー対応			特別な配慮はなし	2.0	0.50	
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする				–	0.25	4.2
1 まちなみ・景観への配慮			建物形状・外壁色・外構計画において10区画での統一感を出している	5.0	0.30	5.0
2 生物環境の創出				3.7	0.30	3.7
2.1 敷地内の緑化		③	高木・中木・低木をバランス良く配し、地被等で緑化面積を増やした	3.0	0.65	
2.2 生物の生息環境の確保			花や実を付ける木を植樹	5.0	0.35	
3 地域の安全・安心			オープン外構を採用し、防災性・防犯性共に有効な計画	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承	●	④	ー	3.0	0.20	3.0

CASBEE-あいち[戸建](2011年度版)

ディアプレイス岡崎駅西No10邸

■使用評価マニュアル: CASBEE-あいち[戸建](2011年度版)

■評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2011v1.1_aichi

項目			評価内容	評価点	重み	得点
LR すまいの環境負荷低減性				-	-	**3.3**
LR1 エネルギーと水を大切に使う				-	0.35	**3.5**
1 建物の工夫で省エネ				**2.5**	0.35	**2.5**
1.1 建物の熱負荷抑制			床下はポリスチレンフォーム、屋根・外壁はｳﾚﾀﾝ吹付	**4.0**	0.50	
1.2 自然エネルギー利用			ー	**1.0**	0.50	
2 設備の性能で省エネ				**4.0**	0.40	**4.0**
2.1 暖冷房設備				4.2	0.27	
1 暖房設備	●		潜熱回収型湯沸器による床暖房をLDに設置	5.0	0.80	
2 冷房設備			特に取組なし	1.0	0.20	
2.2 給湯設備				5.0	0.37	
1 給湯機器			潜熱回収型湯沸器を採用	5.0	0.80	
2 浴槽の断熱			基礎断熱と浴室断熱を採用	5.0	0.10	
3 節湯型機器及び給湯配管			ｷｯﾁﾝ水栓、浴室ｼｬﾜｰ水栓共に節湯型の水栓を採用	5.0	0.10	
2.3 照明・家電・厨房機器			暖房便座とガスコンロは省エネ基準達成、その他評価せず	**3.0**	0.25	
2.4 換気設備			ー	**3.0**	0.05	
2.5 エネルギー利用効率化設備				3.0	0.06	
1 家庭用コージェネレーションシステム			ー	3.0	1.00	
2 太陽光発電システム			ー	-		
3 水の節約				**4.5**	0.15	**4.5**
3.1 節水型設備			節湯型設備を積極的に採用	**5.0**	0.75	
3.2 雨水の利用			取組なし	**3.0**	0.25	
4 維持管理と運用の工夫				**3.5**	0.10	**3.5**
4.1 住まい方の提示			設備毎の取扱説明書を渡している	**3.0**	0.50	
4.2 エネルギーの管理と制御			給湯リモコンにてガスやお湯、CO2排出量、光熱費を数値で表示	**4.0**	0.50	
LR2 資源を大切に使いゴミを減らす				–	0.35	**3.3**
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		②		**3.6**	0.60	**3.6**
1.1 構造躯体				**5.0**	0.30	
1 木質系住宅			PEFC(森林認証プログラム)-CoCの規格に適合	5.0	1.00	
2 鉄骨系住宅			ー	3.0	-	
3 コンクリート系住宅			ー	3.0	-	
1.2 地盤補強材・地業・基礎			評価する取組なし	**3.0**	0.20	
1.3 外装材			ノボパンはリサイクル木材採用、フォームライト廃材はリサイクル可能	**4.0**	0.20	
1.4 内装材			下地材のプラスターボード以外の取組はなし	**1.0**	0.20	
1.5 外構材			リサイクル舗装ブロックを採用、古レンガ利用の花壇を採用	**5.0**	0.10	
2 生産・施工段階における廃棄物削減				**3.0**	0.30	**3.0**
2.1 生産段階(構造躯体用部材)			取組なし	**3.0**	0.33	
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)			取組なし	**3.0**	0.33	
2.3 施工段階			ー	**3.0**	0.33	
3 リサイクルの促進				**3.0**	0.10	**3.0**
3.1 使用材料の情報提供			情報提供を行っていない	**3.0**	1.00	
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する				–	0.30	**3.2**
1 地球温暖化への配慮		①		**3.7**	0.33	**3.7**
2 地域環境への配慮				**2.5**	0.33	**2.5**
2.1 地域インフラの負荷抑制			雨水排水負荷の抑制の取組をしている	**4.0**	0.50	
2.2 既存の自然環境の保全			取組なし	**1.0**	0.50	
3 周辺環境への配慮				**3.5**	0.33	**3.5**
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減			防振の為の適切な施工、隣接する建物の開口部付近に直接排気しないよう配慮	**3.0**	0.50	
3.2 周辺温熱環境の改善			敷地面積に対する緑化面積率34.07%	**4.0**	0.50	

■LR1 太陽光発電による補正後のランクとスコア

項目			評価内容	評価点	重み	得点
2 設備の性能で省エネ				**4.0**	0.40	**4.0**
2.1 暖冷房設備				**4.2**	0.27	
1 暖房設備				5.0	0.80	
2 冷房設備				1.0	0.20	
2.2 給湯設備				**5.0**	0.37	
1 給湯機器				5.0	0.80	
2 浴槽の断熱				5.0	0.10	
3 節湯型機器及び給湯配管				5.0	0.10	
2.3 照明・家電・厨房機器				**3.0**	0.25	
2.4 換気設備				**3.0**	0.05	
2.5 エネルギー利用効率化設備				**3.0**	0.06	
1 家庭用コージェネレーションシステム				3.0	1.00	
2 太陽光発電システム					-	

重点項目スコアシート

予定

ディアプレイス岡崎駅西No10邸

■使用評価マニュアル：CASBEE-あいち[戸建]（2011年度版）
■評価ソフト：CASBEE_DH-NC_2011v1.1_aichi

重点項目（配慮項目）			評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
①	地球温暖化への配慮				3.7
	LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	
②	資源の有効活用				3.7
	Q2	長く使い続ける	4.3	0.30	
	LR2	資源を大切に使いゴミを減らす	3.3	0.35	
③	敷地内の緑化				3.0
	Q3-2.1	敷地内の緑化	3.0	0.05	
④	地域材の活用		（評価ポイント）		1.0
	Q3-4	地域の資源の活用と住文化の継承	1.0	0.05	

■重点項目スコア算出式
各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
重点項目スコア＝各配慮項目の評価点

②資源の有効活用
重点項目スコア＝（評価点×全体に対する重み）の総和 / 重みの総和

④地域材の活用
重点項目スコア＝(No.3.4.5のポイント数＋2)
※0ポイントの場合は1

■　環境設計の配慮事項

■建物名称　　ﾃﾞｨｱﾌﾟﾚｲｽ岡崎駅西No10邸

	設計上の配慮事項
総合	●周辺地域との調和をはかる計画とした●省エネルギー、省資源に配慮し、地球環境負荷の低減に取組むようにした
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	●換気・通風・日射熱調整の配慮
Q2 長く使い続ける	●地盤調査に基づく安全な基礎方式と形状の検討●外壁通気工法、連続的な断熱区画、防湿シートの設置による躯体の高耐久化●制震装置GVAを採用
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする	●周辺との調和をはかり、緑化につとめた
LR1 エネルギーと水を大切に使う	●建物の省エネルギー対策に加え、設備の機能面での省エネルギー設備を採用●照明ランプは極力蛍光灯タイプ(電球色)のものを採用●外部の照明は寿命の長い製品を採用
LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	●ノボパンはリサイクル木材を採用
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する	●雨水浸透設備を採用●植栽による冷気溜り(クールスポット)を道路側に配した
その他	